

# 働いている/ 保育士さんの声

入区 19年目

## たくさんの先輩・後輩と関われる

公立園の良さは、長く働いている方が多くいるので、たくさんの先輩・後輩と関われることです。先輩の退職後も仲良くしてもらっています。  
また、生活の保障がある安心感も大きいです。  
子どもと一緒に楽しめる自分に合っている仕事だと感じています。



ギターを弾くと子どもたちが楽器を持って集まってきて合奏が始まります

入区 15年目

## 仲間と協力して事務時間を確保

計画作成、日誌記入などの事務作業や行事の準備を勤務時間内に進めるためには、周りの職員との連携が欠かせません。お互いに抱えている仕事を共有し作業時間が取れるよう協力しています。



南京五すだれのお披露目。子どもたちも大歓声！



入区 3年目

## この仕事の良さは・・・笑わない日がないこと

面談や懇談会、行事など緊張する場面の前には、先輩や同僚にたくさん話を聞いてシミュレーションしておき「やればできる」と言い聞かせています。



何が出来るかな？



入区 2年目

## 園長先生のコメントが自分の支え

1年間、フレッシュシートに自分の保育を振り返りながら記入し、園長先生にコメントをもらうやりとりを続けました。今の自分の支えになっています。うまくいかない日があっても、たくさん寝てリフレッシュ！



靴、履けるかな？

入区 35年目

## 心が動く経験を大切にしたい

篠笛を吹いたり太鼓をたたいたりして見せ、日本の伝統芸能に子どもたちが親しむ機会を作っています。実際に触れることで心が動き、音が聴こえると自然と体が動く経験を大切にしています。また職員を誘って一緒に研修に参加し、後輩の育成を進めています。



卒園式の練習風景



入区 5年目

## 悩みは一人で抱え込まない！

5年目で初めて一人担任になり、楽しいことも多い反面、迷ったり、悩んだりすることが増えました。そんな時はひとりで抱え込まず、職場の先輩に相談にのってもらい、一つひとつ解決するようにしています。うまくいかないこと



走ってきてはい！タッチ！

に自信を無くしそうになることもあります。定期的に他園の同期と集まり、同じ経験をしている仲間同士で悩みを相談しあい、笑いあい、支えあうことで元気をもらっています。



入区 15年目

## ピカピカのランドセル姿がうれしかった

年長児担任をやりとげ、力を出し切った私は心にぽっかり穴の空いた状態でしたが、ピカピカのランドセルを背負って入学式帰りの卒園児たちが私が異動した園まで会いに来てくれて、とてもうれしかったことを覚えています。

手作りの紙芝居やぬいぐるみ

